

👤 ~ 2 0 1 1 ~ 🚗

最強のふたり

I N T O U C H A B L E S

映画で考える 「障害と介助、対等な関係」

対象：中学生以上

名前

年 組

1 「かわいそう」は、やさしさ？

事故で首から下が動かなくなった大富豪フィリップは、介護の経験もない若者ドリスを介護人を選びます。その理由は——「彼は、私を同情の目で見ないからだ」。

👤 「かわいそう」より、「いっしょに」。

🔑 同情と思いやり

「かわいそう」という同情は、ときに相手を「下」に見ることにつながります。思いやりは、相手を対等な一人の人として大切にすることから始まります。

※実話をもとにした映画です。映画の最後には、実在の二人の姿も映し出されます。

2 対等な関係をつくる4つの視点

■ ① 特別あつかいしない

障害ではなく、その人自身を見る。

■ ② 本人の意思を大切にする

何をしたいか、どうしてほしいかを本人に聞く。

■ ③ おたがいに学び合う

介助は「してあげる」だけの一方通行ではない。

■ ④ ちがう世界を知る

生まれ育ちのちがう人と出会うことで、見方が広がる。

3 映画『最強のふたり』とは

あらすじ（実話がもと）

パリに住む大富豪フィリップは、事故で首から下がまひしています。介護人の面接にやってきたドリスは、仕事をする気がなかったのに採用されます。遠慮のないドリスと、上品で気むずかしいフィリップ。まったくちがう二人の毎日が、少しずつ変わっていきます。

日本でも大ヒット

東京国際映画祭で最高賞の東京サクラグランプリを受賞し、日本アカデミー賞でも最優秀外国作品賞に選ばれました。

見るときの心がまえ

二人がおたがいから何を学んでいるかに注目しながら見ましょう。

4 対等な関係を考えるワーク

 映画を観て（またはあらすじから）、考えて書こう

① フィリップがドリスを選んだのは、なぜだと思う？

② ドリスとフィリップ、それぞれが相手から学んだことは？

③ 「同情」と「思いやり」のちがいを、自分の言葉で説明しよう

④ 障害のある人と関わる時、大切にしたいことは？

5 ふりかえり

障害のある人と関わる時は、_____ではなく対等に向き合うことが大切だと分かりました。

これから、_____を心がけたいです。

 『『かわいそう』より、『いっしょに』。』

先生・保護者へ：『最強のふたり』は日本でPG12です（大麻を吸う場面や、下品な冗談・言葉づかいを含みます）。本資料は中学生以上を想定しています。上映する場合は場面を選び、障害のある生徒や、家族の介護にかかわる生徒がいる可能性に配慮してください。

© 2026 FilmEdu AI / この教材はAIを活用して作成しています。内容に誤りを含む場合があります。解説文はすべてオリジナルで、ポスター・場面写真は使用していません。作品の著作権は各権利者に帰属します。授業での上映には適切な権利処理が必要になる場合があります。